

# 大分県新長期総合計画策定県民会議 第4回安心部会 委員発言要旨

日時：令和6年5月16日(木)14:00～16:10

場所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

No.	項目	発言要旨
1	安心1 (1) 強靱化	・目標指標の「治水対策により浸水被害が軽減する地区数」は、達成割合を併記してはどうか。実数だけでは、全体のうちどの程度達成しているかわからない。
2	安心1 (1) 強靱化	・目標指標「優先啓開ルート上における橋梁の耐震化率」は、計画最終年度（R15年度）に80.3%を設定しているが、これは100%とすべきではないか。20%を残したために問題が起こってはいけないと思う。
3	安心1 (1) 強靱化	・文中に「ミッシングリンク」や「リダンダンシー」など専門的な用語がある。県民に伝わりやすい表現にできないか。
4	安心1 (2) 防災	・能登半島地震を踏まえ、本県も孤立集落対策をしっかりとやっていくことが重要だと思う。そのことを指標や取組で見える化など、県民の安心につながる書きぶりを検討してはどうか。
5	安心1 (2) 防災	・避難所の環境は、大規模災害が発生する度に課題になる。空調整備やプライバシーへの配慮など少しずつ進んでいるが、ペットがいるから避難所に行けないという方もいるなど、避難所ニーズは多様化している。難しいとは思いますが、多様な方が避難できる環境整備が進んでいることがわかるような目標指標を設定できるとよい。
6	安心1 (2) 防災	・避難所における水とトイレの確保は非常に重要だが、これらを事前の備蓄だけで準備するのは難しい。企業や団体等と連携して、災害時に提供してもらえる体制を構築してもらいたい。
7	安心1 (2) (3) 防災	・能登半島地震は、仮設住宅などのフェーズになってきている。避難所生活のその先の取組も盛り込んでどうか。
8	安心1 (2) (3) 防災	・医療的ケア児など、電源がないと命に関わる方がいる。県の支援により、自宅における非常用電源の整備は急ピッチで進んできたが、ここに行けば必ず電気があるという避難先とそこまでの確実な避難方法の確保も必要
9	安心2 (4) 環境 担い手	・環境問題だけでなく、自然災害にも関係する分野である「地学」を高校の段階で学ぶ機会をつくってもらいたい。大分県は、他都道府県と比較して、地学教育が行われていない現状がある。受験制度など構造的課題があることは承知しているが、オンライン授業等も活用しながら、少なくとも「地学基礎」は、学べる環境づくりを進めてほしい。
10	安心3 (1) 子育て	・目標指標「男性の育児休業取得率」は、現状27.9%に対し令和15年度目標が85%と非常に高い目標になっているが、実現可能なのか。目標値は、施策や取組とリンクすべきもので、国が定めているからという理由だけで設定するものではないと思う。 ・他の目標にも同じようなものがあれば、実現可能性を精査すべきと思う。
11	安心3 (1) 子育て	・地域子育て支援拠点やこども食堂等も大切だが、こどもやその保護者の居場所として児童館の役割も大切。現状、こどもが就学した途端に行き場がなくなるという課題がある。ぜひ、児童館への支援にも力を入れてもらいたい。
12	安心3 (2) 子育て	・出会いサポートセンターは、積極的な広報を行うなど、引き続き力を入れて取り組んでもらいたい。

No.	項目	発言要旨
13	安心3 (3) こども まんなか	・長期総合計画という幅広い分野の計画に「こどもまんなかまちづくりの推進」など、「こどもの声を聞こう」というスタンスを入れてもらえたことに感謝したい。計画の実行にあたっては、未来の大人であるこどもたちの権利を尊重し、彼らの声を大切にしてもらいたい。
14	安心3 (5) 困難を 抱える こども	・目標指標に「自分にはよいところがあると思うと答えたこどもの割合」を掲げているが、施策との関係性が分かりにくい。もう少し取組の内容と関係のある直接的な指標を設定できないか。
15	安心4 (2) 医療	・医師の働き方改革を巡っては、特に救急医療と産科医療がどうなるかという課題がある。大学や医師会、地域の診療所・病院、行政がしっかりと連携していく必要がある。
16	安心4 (3) 介護	・ふくふく認証を取得する施設・法人が増えるよう取り組んでもらいたい。加えて、こうした取組を県外だけでなく、海外にもPRしていただき、介護人材の確保につなげてもらいたい。
17	安心5 (2) 障がい 者	・医療的ケア児の家族のレスパイト※事業について、当事者から大変ありがたいとの声が上がっている。対象児だけでなく、家族に対する支援もしっかり届けてもらいたい。  ※日々看護を行う家族の休息時間をつくること
18	安心7 (1) 治安 交通	・「刑法犯認知件数」、「交通事故死者数」の過去最小値を目指すという目標は、県民目線から見ても安心につながることで、最近の実態として下げ止まりの傾向にあること等を踏まえ、適切だと考える。
19	安心7 (3) 食の 安全	・目標指標「月に1回以上食育に取り組む学校の割合」について、100%を目指すというのも必要なことではあるが、大切なのはその内容である。質の向上にもしっかり取り組んでもらいたい。
20	計画 全般	・長期総合計画ということで、非常に量も多く、専門的な内容も含まれることから、これを読み込める県民がどのくらいいるのか不安を感じた。10年後の目指す姿を簡単に図やイラストを使ってまとめたり、重要な指標をピックアップできるのであれば、それらをまとめるなど、わかりやすく伝える工夫をしてもらいたい。